

新潟市の環境の状況について

平成30年1月31日
新潟市環境審議会

計画の概要

■計画期間 平成27年度から平成34年度まで（8年間）

■施策の柱

環境教育と協働の推進

I 低炭素社会の創造

- ・地球温暖化対策実行計画
- ・スマートエネルギー推進計画

II 循環型社会の創造

- ・一般廃棄物処理基本計画

III 生物多様性の保全

- ・にいがた命のつながりプラン
ー生物多様性地域計画ー

IV 快適な生活環境の創造

学校などにおける環境教育の推進

■ ESD環境学習モデル支援校

H29年度14校指定。

ESD-Jより講師を招き講演会実施。

■ 環境教育副読本

H28年度に改訂した内容をH29年度版に反映。



H29環境教育副読本

地域社会における環境教育の推進

■ 環境フェアの開催

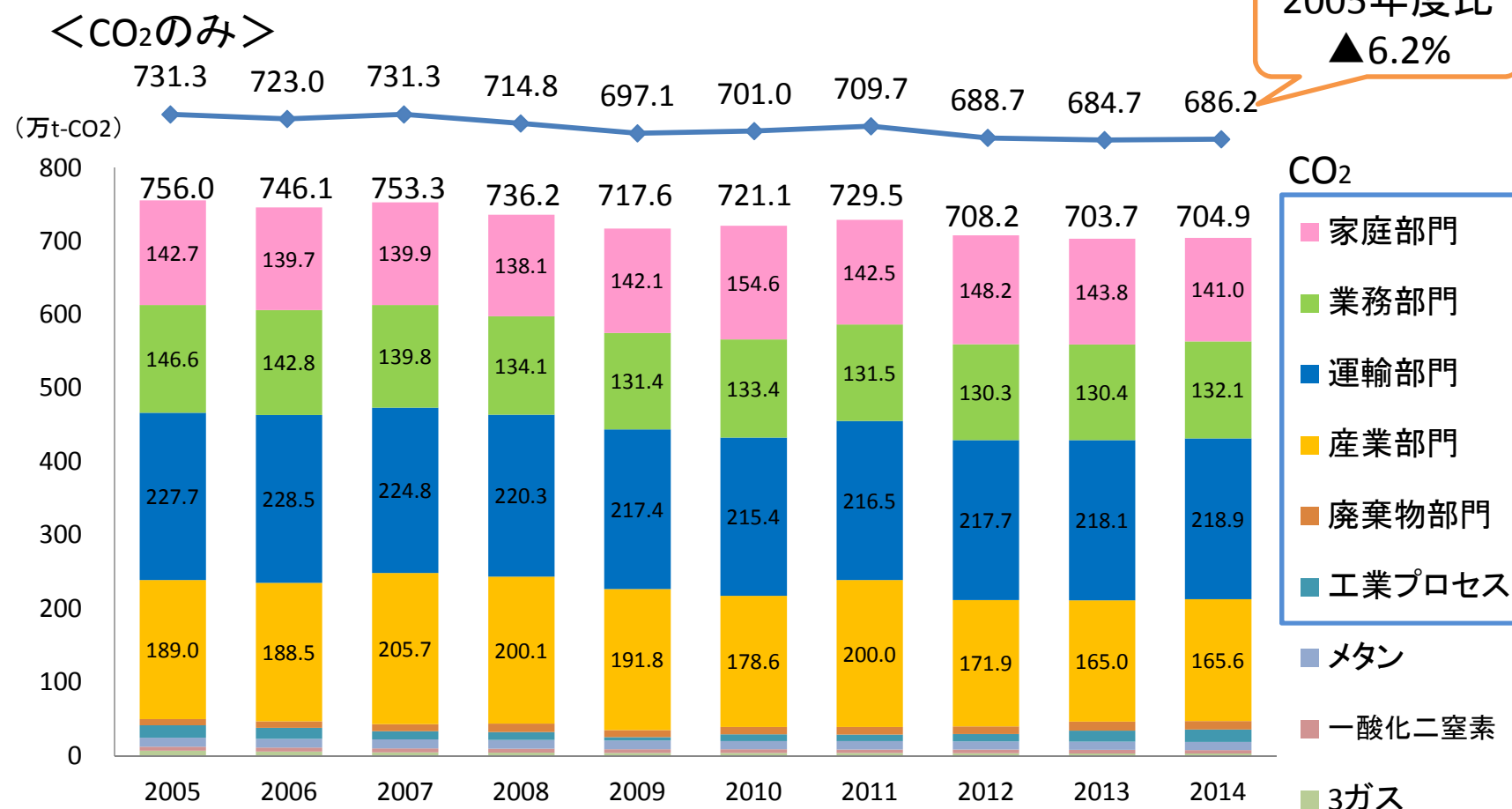
H29年度で通算30回目。来場者数約3万1千人。

政令指定都市・区政移行10周年を記念し、

「賢く使おう！身の回りのエネルギー」をテーマに開催。



新潟市域の温室効果ガス排出量の推移



○家庭部門：世帯当たり4.3t（全国平均3.4t）
○運輸部門：人口一人当たり2.7t（全国平均1.7t）

依然として
家庭・運輸部門が課題

家庭部門への対策

■家庭の省エネ取組支援講座

希望する団体に温暖化防止活動推進員等講師を派遣。

温暖化の状況や身近な省エネ取組などについて講義。

年度別実績	H27	H28	H29
実施回数	19回	24回	20回(見込み)
延参加者数	580人	840人	750人(見込み)
CO2削減量推計	19t-CO2	76t-CO2	集計中

■省エネキャンペーン

省エネへの意識向上を目的に実施。

家庭のエネルギー使用量を夏・冬各3か月分記入した専用はがきの送付により抽選で景品が当たるキャンペーン。

年度別実績	H27	H28	H29
応募数	874	1,173	562(前期のみ)

運輸部門への対策

■エコモビ推進運動

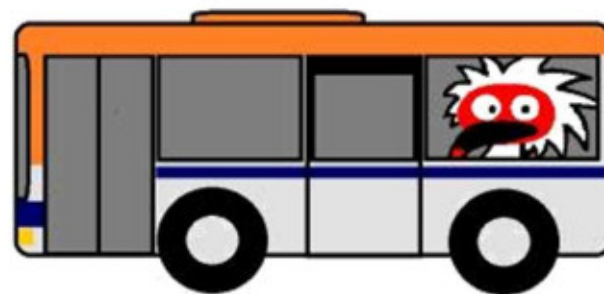
COOL CHOICEの一環として、公共交通への転換やエコドライブなど環境に配慮した移動を推進。

10月から12月を推進月間とし、参加事業所・市民を募集。

事業所へのエコドライブ研修やショッピングセンターなどでのエコドライブシミュレーター体験イベントなどを実施。



年度別実績	H28	H29
参加登録団体	41団体	54団体
延参加者数	19,154人	19,855人
CO2削減量推計	1,724t-CO2	集計中



アピタ西店での
エコドライブ体験イベント

1 農業系バイオマス資源の活用推進

- 事業 もみ殻燃料モニター事業（H28年度からの継続事業）
- 目的
 - もみ殻を化石燃料の代替エネルギーとして活用しCO₂を削減
 - 焼却灰の有効活用によるバイオマス資源の地域内循環
- 概要
 - 実施場所 南区の園芸農家（農業法人）
 - 暖房時期 平成29年11月20日～（3月末までの予定）
 - 栽培作物 チューリップ切花，花苗（トルコキキョウなど）
 - 成果目標 重油の削減（H28は重油1,600L，CO₂約4 t 削減）
焼却灰の有効活用



△ビニールハウス内部



△配管部分



△ボイラー本体

2 再生可能エネルギー発電事業の推進

■目的

- 国補助を活用した再生可能エネルギーの導入
- 避難所となる学校などの非常時の防災機能強化

■国補助

- H24二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
- H28二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

■実績

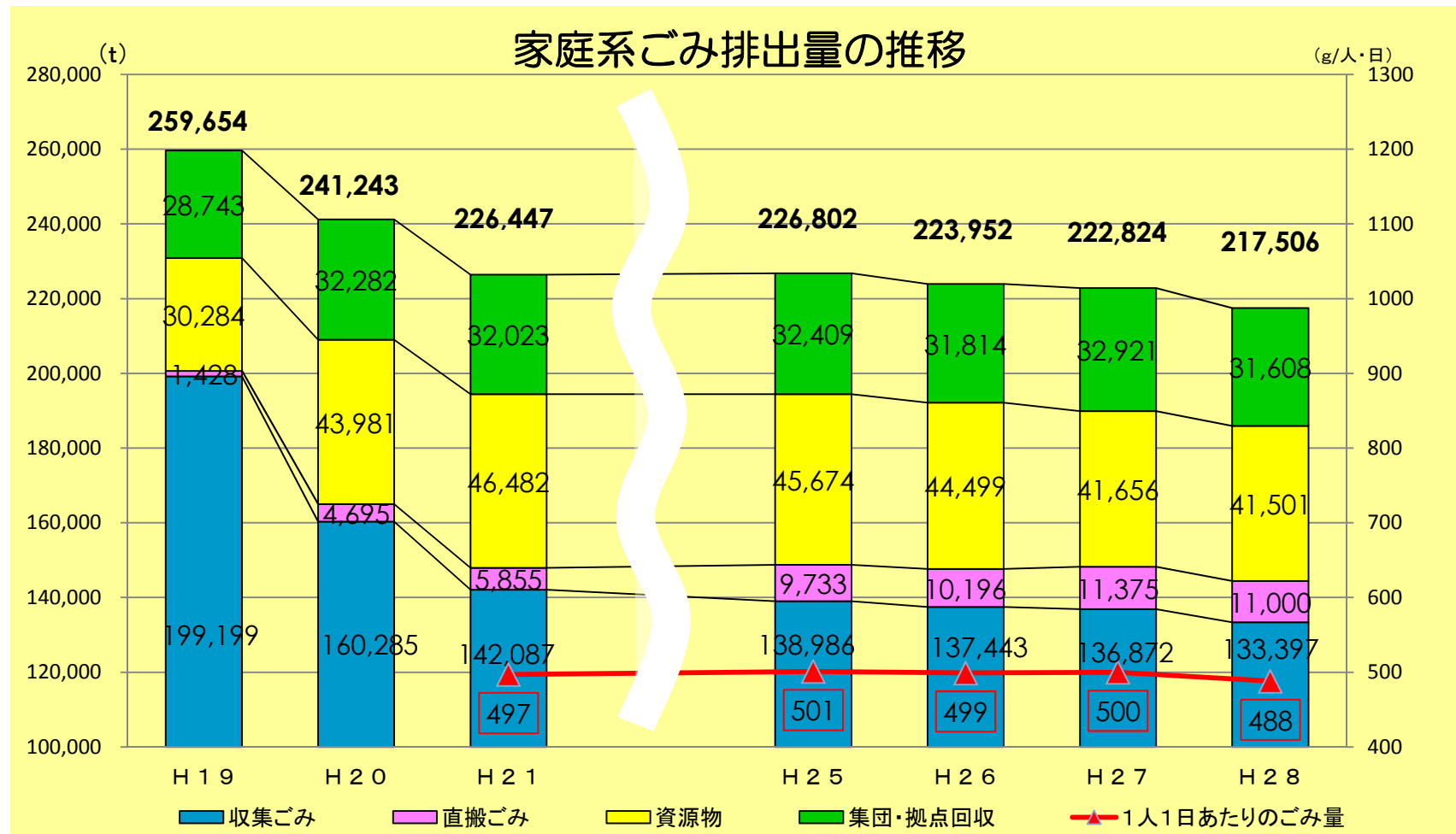


△◁岩室中学校

事業	導入施設	国補助
再生可能エネルギー等 導入推進基金事業 (H25～H28)	小学校 10箇所 (太陽光6箇所60kW, 蓄電池10箇所142.3kWh) 中学校 7箇所 (太陽光7箇所70kW, 蓄電池 7箇所106.1kWh) 高校 1箇所 (太陽光導入なし, 蓄電池 1箇所 12.6kWh)	約3.1億円 (10/10補助)
避難所への太陽光・ 蓄電池導入事業 (H29)	中学校 2箇所 (太陽光2箇所20kW, 蓄電池 2箇所20kWh) 体育館 1箇所 (太陽光1箇所10kW, 蓄電池 1箇所10kWh) コミセン 1箇所 (太陽光1箇所10kW, 蓄電池 1箇所10kWh)	約0.7億円 (2/3補助)
合 計	22箇所 (太陽光17箇所170kW, 蓄電池22箇所301kWh)	約3.8億円

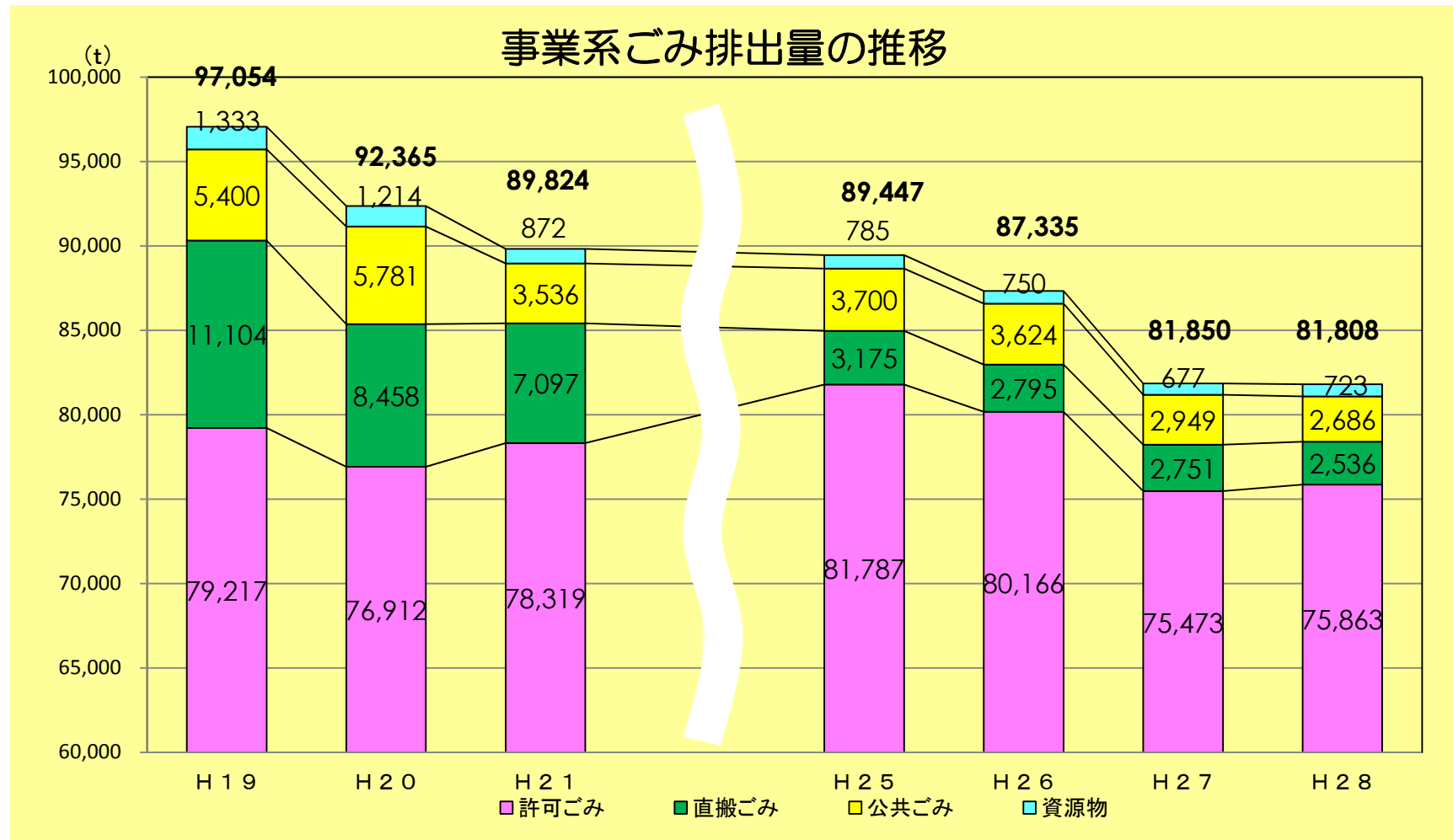


ごみ量の推移（１）



平成29年度 第1回清掃審議会資料より

ごみ量の推移（２）



平成29年度 第1回清掃審議会資料より

平成29年度 主な取組み

①にいがた未来ポイントとの連携

- ・生ごみ水切り講座
- ・段ボールコンポスト講座
- ・段ボールコンポスト及び基材の購入
- ・地域における生ごみ堆肥化事業
- ・乾燥生ごみ拠点回収事業 など



②段ボールコンポストの普及促進

- 販売箇所 11 か所
 - ・市役所廃棄物政策課
 - ・各区役所区民生活課
 - ・資源再生センター（エコプラザ）
 - ・江南区農産物直売所「大地」
- 選べる購入
 - ・セットまたは基材のみで販売



③学校給食残さの利用促進

飼料化対象校： 41校
堆肥化対象校： 108校



④サイチョプレス特集号の発行

平成29年10月

食品廃棄物に関する取組みを特集

- ・食品ロス削減
- ・生ごみ減量・リサイクル



⑤共同住宅向けチラシの配布

自治会未加入者にも周知できるよう、
不動産業者などを通じてチラシを配布

⑥焼却施設のあり方検討調査

ごみ量の推移を踏まえ、最適な施設
配置（施設数、施設規模含む）を検討
し、中・長期的な視点から今後の焼却
施設のあり方について調査

1 市の鳥「ハクチョウ」関連事業

【ハクチョウの飛来数】

全国一斉調査の結果（コハクチョウ）（羽）

年	新潟市	新潟県	全国
平成27年	6,313	11,898	35,122
平成28年	8,974	17,346	38,617
平成29年	10,548	14,931	35,596

毎年1月に調査。平成29年は全国に飛来する約30%を本市で確認
（出典：環境省ガンカモ類の一斉調査）

【ハクチョウ啓発事業】

（1）ハクチョウガイドブックの発行

- ・市の鳥「ハクチョウ」の生態や観察場所等を紹介。市施設等で配布

（2）ハクチョウポスターによる啓発

- ・市の鳥「ハクチョウ」を紹介。市施設等に掲示

（3）SNSを利用したハクチョウに関する情報発信

- ・にいがた生きものファンクラブで情報を随時発信【会員数 579人】
（平成29年12月末現在）

（4）市の鳥「ハクチョウ」パネル展等の開催

- ・2月10日から天寿園でパネル展を開催し、関連イベントを併せて実施

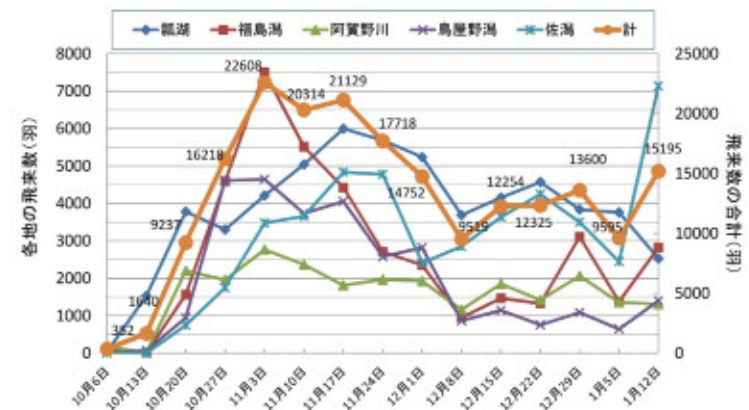


図. 平成29年度の越後平野への飛来数
（出典：新潟県水鳥湖沼ネットワークHP）



2 外来種対策関連事業

(平成29年12月末現在)

【特定外来生物の確認状況】

市内では、これまでに
11種を記録

(内訳は右表のとおり)

は虫類(1種)	両生類(1種)	魚類(3種)	クモ類(1種)	植物(5種)
・カミツキガメ	・ウシガエル	・チャネルキャット フィッシュ ・ブルーギル ・オオクチバス	・セアカゴケグモ	・アレチウリ ・オオフサモ ・オオキンケイギク ・オオハンゴンソウ ・ボタンウキクサ

【外来種対策関連事業】

(1) 外来種啓発事業

- ・外来種に関する基礎知識や問題点について、チラシやHPにより市民に啓発(チラシは市施設等で配布)



(2) ヒアリ対策

- ・特定外来生物であるヒアリに関し、庁内関係課等との情報共有や連絡体制を整備したほか、HP等により市民に啓発
- ・専門家を招いた庁内関係課学習会を開催
- ・ヒアリは平成29年6月以降、国内で26例確認
⇒ 市内では確認なし(平成29年12月末現在)



アレチウリの実

(3) 佐潟周辺のアレチウリモニタリング

- ・ラムサール条約湿地「佐潟」周辺において、平成23年度以降特定外来生物であるアレチウリの生育が確認されており、毎年抜き取りによる駆除作業を実施
⇒ 平成29年度はこれまで確認されてきた地点での生育が認められず、成果が見られた。埋土種子がある可能性があるため、継続して注視する。



アレチウリ

3 湿地等自然環境保全事業

(1) 潟シンポジウムの開催

- ・目的 本市の宝である「潟」をはじめとする豊かな自然環境について再認識し、理解を深める機会とする。
- ・開催日 平成29年10月14日（土）
- ・会場 北区文化会館
- ・内容 ①基調講演：さかなクンのお魚教室
②小学生等による潟に関する活動報告
- ・来場者 430人



(2) ラムサールパンフレットによる普及・啓発

- ・条約の理念や精神をはじめ、本市の湿地の魅力等も併せて紹介（イベントや市施設等で配布）

4 鳥獣等保護管理事業

(1) ツキノワグマ等大型獣類出没等への対応

- ・市内でツキノワグマやイノシシ等の目撃・痕跡情報があった場合に、区役所や猟友会、警察と連携して対応
- ・市内の現状や対策について情報共有を図るため、関係機関で構成する連絡会議を開催（毎年2月下旬）

ツキノワグマ等大型獣目撃等件数
（平成29年度は平成29年12月末現在）

年度	クマ	サル	イノシシ
H27	5	2	0
H28	22	32	3
H29	4	13	3

(2) 有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保事業

- ・新規に第1種銃猟免許を取得し、市や農協が行う有害鳥獣捕獲に協力することを誓約した人に対し、免許取得に係る経費の一部を補助（平成28年度 9人、平成29年度 22人予定）

大気環境の体系

平成29年度

大気調査項目	調 査 地 点
環境大気常時監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般環境大気測定局 9 地点 ・ 自動車排出ガス測定局 3 地点
移動局自動車排ガス影響調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道地域（道路に面する地域） 1 地点
有害大気汚染物質調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般環境大気測定局 3 地点 ・ 自動車排出ガス測定局 1 地点
アスベスト調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般環境大気測定局 6 地点 ・ 自動車排出ガス測定局 2 地点 （各区1地点，計8地点で実施）
酸性雨調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般環境大気測定局及び一般環境地域（道路に面する地域以外の地域） 2 地点

大気常時監視測定結果（速報）

平成29年12月31日現在

		二酸化硫黄		二酸化窒素	オキシダント	浮遊粒子状物質		微小粒子状物質	一酸化炭素	
		長期的評価	短期的評価	長期的評価	短期的評価	長期的評価	短期的評価		長期的評価	短期的評価
一般環境大気測定局	豊 栄	—	—	○	×	—	—	—	—	—
	太 郎 代	○	○	○	×	○	○	○	—	—
	松 浜	○	○	○	×	○	○	H29/12/2から 測定開始	—	—
	大 山	○	○	○	×	○	○	○	—	—
	山 木 戸	○	○	○	×	○	○	—	—	—
	亀 田	—	—	○	×	○	○	○	—	—
	新 津	—	—	○	×	—	—	○	—	—
	坂 井 輪	—	—	○	×	—	—	○	—	—
	巻	—	—	○	×	—	—	○	—	—
自動車排出ガス測定局	東山の下	—	—	○	—	○	○	○	○	○
	市 役 所	—	—	○	×	—	—	○	—	—
	白 根	—	—	○	×	○	○	○	○	○

有害大気汚染物質調査結果（速報値）

平成29年12月末現在

	物質名	松浜局 (全国標準 監視地点)	大山局 (全国標準 監視地点)	長嶺局 (地域特設 監視地点)	新津局 (地域特設 監視地点)	環境基準	指針値
環境基準 設定物質	ベンゼン	○ (0.33)	○ (0.33)	○ (0.38)	—	3μg/m ³	—
	トリクロロエチレン	○ (0.14)	○ (0.19)	—	—	200μg/m ³	—
	テトラクロロエチレン	○ (0.096)	○ (0.041)	—	—	200μg/m ³	—
	ジクロロメタン	○ (0.72)	○ (0.80)	—	—	150μg/m ³	—
指定地 設定物質	アクリロニトリル	○ (0.0059)	○ (0.0064)	—	—	—	2 μg/m ³
	塩化ビニルモノマー	○ (0.0038)	○ (0.0033)	—	—	—	10 μg/m ³
	クロロホルム	○ (0.15)	○ (0.17)	—	—	—	18 μg/m ³
	1,2-ジクロロエタン	○ (0.28)	○ (0.11)	—	—	—	1.6 μg/m ³
	水銀及びその化合物	○ (1.6)	○ (1.7)	—	—	—	40 ngHg/m ³
	ニッケル化合物	○ (1.5)	○ (2.9)	—	○ (1.7)	—	25 ngNi/m ³
	1,3-ブタジエン	○ (0.015)	○ (0.012)	○ (0.026)		—	2.5 μg/m ³
	ヒ素及びその化合物	○ (0.52)	○ (0.70)	—	—	—	6.0ng/ m ³
	マンガン及びその化合物	○ (15)	○ (13)	—	○ (11)	—	140ng/ m ³

アスベスト一般環境測定結果

単位：本/L（総繊維数濃度）

番号	区	測定場所	測定結果			全国結果 (H28年度)
			H26年度	H27年度	H28年度	
1	北区	豊栄局	0.56～(1.1)	0.081～0.39	0.19	0.056 ～ 0.95
2	東区	大山局	0.56～0.67	0.23～0.25	(1)	
3	中央区	市役所局	0.52～0.82	0.10～0.30	0.54	
4	江南区	亀田局	0.64～0.73	0.29～0.57	0.6	
5	秋葉区	新津局	0.28～0.64	0.25～(1.3)	0.68	
6	南区	白根局	0.44～0.65	0.30～0.80	0.39	
7	西区	坂井輪局	0.12～0.52	0.33～0.81	0.68	
8	西蒲区	巻局	0.15～0.76	0.23～0.71	0.66	
結果の範囲			0.12～(1.1)	0.081～(1.3)	0.19～(1)	

()については電子顕微鏡による分析の結果、アスベスト繊維数は検出下限値(0.13)未満である

PM2.5の測定結果（速報値）

平成29年12月末現在

	1年平均値※ ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた 日数(日)	1時間値の最 高値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	1日平均値の 最高値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	1日平均値※ の98%値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
太郎代	9.2	0	44	32.3	22.0
松浜	(5.5)	(0)	(34)	(13.0)	(12.9)
大山	7.9	0	45	34.4	21.0
亀田	9.4	0	47	34.3	24.0
新津	7.4	0	43	32.3	22.6
坂井輪	8.1	0	44	28.7	20.6
巻	8.8	0	46	32.9	23.8
東山の下	9.5	0	50	32.0	22.0
市役所	9.4	0	47	31.6	23.4
白根	8.1	0	50	31.2	22.1

※環境基準と比較する値

松浜は、有効日数が250日未満のため参考値(平成29年12月2日より測定)

水質調査の体系

調査実施主体	調査地点	
	河川、湖沼及び海域	
新潟市	3 3 地点	
	信濃川水域	17 地点
	阿賀野川水域の福島潟	1 地点
	新井郷川	4 地点
	鳥屋野潟	2 地点
	新潟海域甲乙丙	6 地点
	弥彦・米山地先海域	3 地点
国土交通省 北陸地方整備局	7 地点	
	信濃川	4 地点
	阿賀野川	2 地点
	関屋分水路	1 地点
新潟県	3 地点	
	新潟海域甲	1 地点
	新潟海域東港	2 地点

調査内容

	河川	湖沼	海域
調査期間	通年	通年	4－10月
調査頻度	月1回	月2回	月1回
調査項目	健康項目(年2回程度)		
	BOD,COD等の生活環境項目(毎回)		
	要監視項目(年2回程度)		—

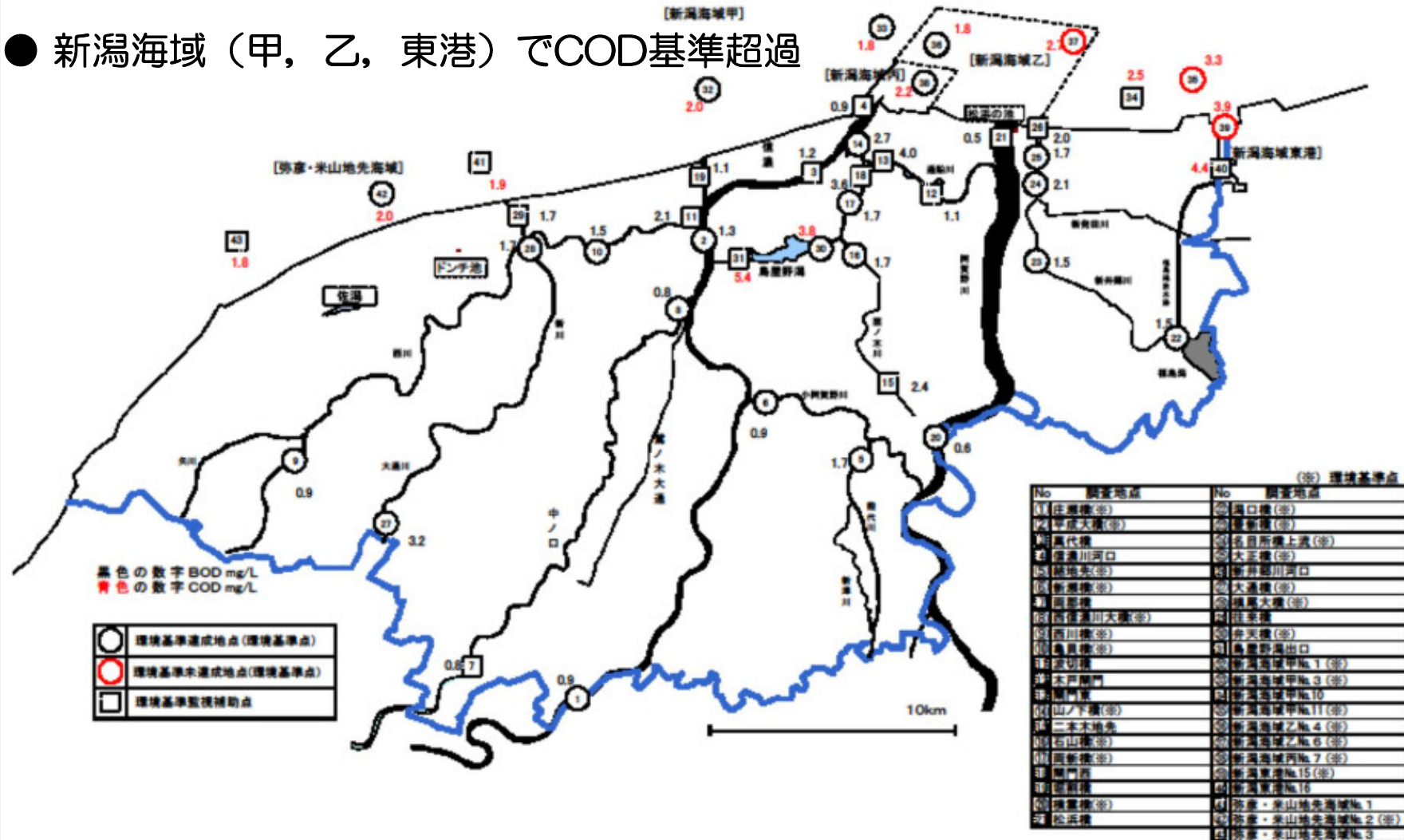
試料採取 委託機関

分析 衛生環境研究所

公共用水域の水質BOD/COD 適合状況（環境基準点）

平成29年度(12月時点)

● 新潟海域（甲，乙，東港）でCOD基準超過



公共用水域の水質BOD/COD適合状況（その1）

平成29年度(12月時点)

水域名 (河川名等)			調査地点	類型	基準値(75%値)		環境 基準点	測定結果 75%値	環境基準 達成状況
					BOD	COD			
信濃川	信濃川	中流	庄瀬橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	0.9	○
		下流	平成大橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	1.3	○
			萬代橋					1.2	
			信濃川河口					0.9	
	能代川		結地先(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	1.7	○
	小阿賀野川		新瀬橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	0.9	○
	中ノ口川		両郡橋	河川A	2mg/L以下	—		0.8	○
			西信濃川大橋(※)				(※)	0.8	
	西川	上流	西川橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	0.9	○
		下流	亀貝橋(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	1.5	○
			波切橋					2.1	
	通船川		木戸閘門	河川D	8mg/L以下	—		1.1	○
			閘門東					4.0	
			山ノ下橋(※)				(※)	2.7	
	栗ノ木川	上流	二本木地先	河川C	5mg/L以下	—		2.4	○
			石山橋(※)				(※)	1.7	
			両新橋(※)	河川E	10mg/L以下	—	(※)	1.7	○
閘門西							3.6		
関屋分水路		堀割橋	—	—	—	—	1.1	—	

公共用水域の水質BOD/COD 適合状況（その2）

平成29年度(12月時点)

水域名 (河川名等)			調査地点	類型	基準値(75%値)		環境 基準点	測定結果 75%値	環境基準 達成状況
					BOD	COD			
阿賀野川	阿賀野川		横雲橋(※)	河川A	2mg/L以下	—	(※)	0.6	○
			松浜橋					0.5	
	福島潟		潟口橋(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	1.5	○
	新井郷川	上流	豊新橋(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	1.5	○
		中流	名目所橋上流(※)	河川B	3mg/L以下	—	(※)	2.1	○
		下流	大正橋(※)	河川C	5mg/L以下	—	(※)	1.7	○
			新井郷川河口					2.0	
新川	大通川		大通橋(※)	河川C	5mg/L以下	—	(※)	3.2	○
	新川		槇尾大橋(※)	河川C	5mg/L以下	—	(※)	1.7	○
			往来橋					1.7	
湖沼	鳥屋野潟		弁天橋(※)	湖沼B	—	5mg/L以下	(※)	3.8	○
			鳥屋野潟出口					5.4	
海域	新潟海域	甲	新潟海域甲No. 1(※)	海域A	—	2mg/L以下	(※)	2.0	×
			新潟海域甲No. 3(※)				(※)	1.8	
			新潟海域甲No. 10					2.5	
			新潟海域甲No. 11(※)				(※)	3.3	
		乙	新潟海域乙No. 4(※)	海域A	—	2mg/L以下	(※)	1.8	×
			新潟海域乙No. 6(※)				(※)	2.7	
		丙	新潟海域丙No. 7(※)	海域B	—	3mg/L以下	(※)	2.2	○
	新潟海域東港		新潟海域東港No. 15(※)	海域B	—	3mg/L以下	(※)	3.9	×
			新潟海域東港No. 16					4.4	
	弥彦・米山地先海域		弥彦・米山地先海域No. 1	海域A	—	2mg/L以下		1.9	○
			弥彦・米山地先海域No. 2(※)				(※)	2.0	
弥彦・米山地先海域No. 3							1.8		

環境放射能

● 放射線量と放射線物質

平成29年度

調査項目	調査地点及び調査結果	
	調査地点	調査結果
空間放射線量率	中央区（自動測定）1 地点 区役所（月1回）8 地点 海水浴場4 地点 計13 地点	地上1mの高さにおける放射線量率 0.049 ～ 0.11 $\mu\text{Sv/h}$ (4月～12月末) (参考) ※通常の測定範囲 0.016 ～ 0.16 $\mu\text{Sv/h}$ 程度
河川底質	河川 9 地点 (能代川, 小阿賀野川, 中ノ口川, 栗ノ木川, 通船川, 西川, 新川, 新井郷川, 鳥屋野湯)	ヨウ素 131 検出しない セシウム134 検出しない セシウム137 検出しない～15 Bq/kg ※定量下限値: 10 Bq/kg 「検出しない」とは10 Bq/kg未満 (新井郷川, 栗ノ木川, 通船川, 新川で検出)
河川・海域水質	河川, 海域, 海水浴場 15地点	ヨウ素131, セシウム134, 137 検出しない ※定量下限値: 1 Bq/kg 「検出しない」とは1 Bq/kg未満

騒音・振動調査の体系

平成29年度

調査項目	調査地点
一般地域における騒音 道路に面する地域における騒音	<p>(1) 一般地域(道路に面する地域以外の地域)</p> <p>調査地点 : A類型 10地点 B類型 13地点 C類型 9地点</p> <p>(注) 1 Aを当てはめる地域は、専ら住居の用に供される地域とする。 2 Bを当てはめる地域は、主として住居の用に供される地域とする。 3 Cを当てはめる地域は、相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域とする。</p> <p>(2) 道路に面する地域</p> <p>調査地点 : 高速自動車道 5地点 一般国道 8地点 県道 18地点</p>
新幹線鉄道騒音・振動	調査地点 : 沿線地域 6地点
航空機騒音	<p>調査地点 : 船江地区 8地点 松浜地区 7地点</p>

環境基準の達成状況（一般地域）

平成29年度環境基準の達成状況

地域の類型 (地点数)	測定値 (デシベル)		環境基準 (デシベル)		環境基準の 達成状況
	昼間	夜間	昼間	夜間	
A類型(10地点)	41～50	35～44	55	45	達成
B類型(13地点)	43～54	35～44	55	45	達成
C類型(9地点)	46～53	36～50	60	50	達成

- (注) 1 Aを当てはめる地域は、専ら住居の用に供される地域とする。
 2 Bを当てはめる地域は、主として住居の用に供される 地域とする。
 3 Cを当てはめる地域は、相当数の住居と併せて商業、工業等の用に
 供される地域とする。

環境基準の達成状況（道路に面する地域）

平成28年度環境基準の達成率・戸数

区分	昼夜とも 基準値以下		昼のみ 基準値以下		夜のみ 基準値以下		昼夜とも 基準値超過	
	戸数	割合 (%)	戸数	割合 (%)	戸数	割合 (%)	戸数	割合 (%)
全戸数 (51,476戸)	50,958	99.0	113	0.2	187	0.4	218	0.4
近接空間 (19,818戸)	19,408	97.9	85	0.4	152	0.8	173	0.9
非近接空間 (31,658戸)	31,550	99.7	28	0.1	35	0.1	45	0.1

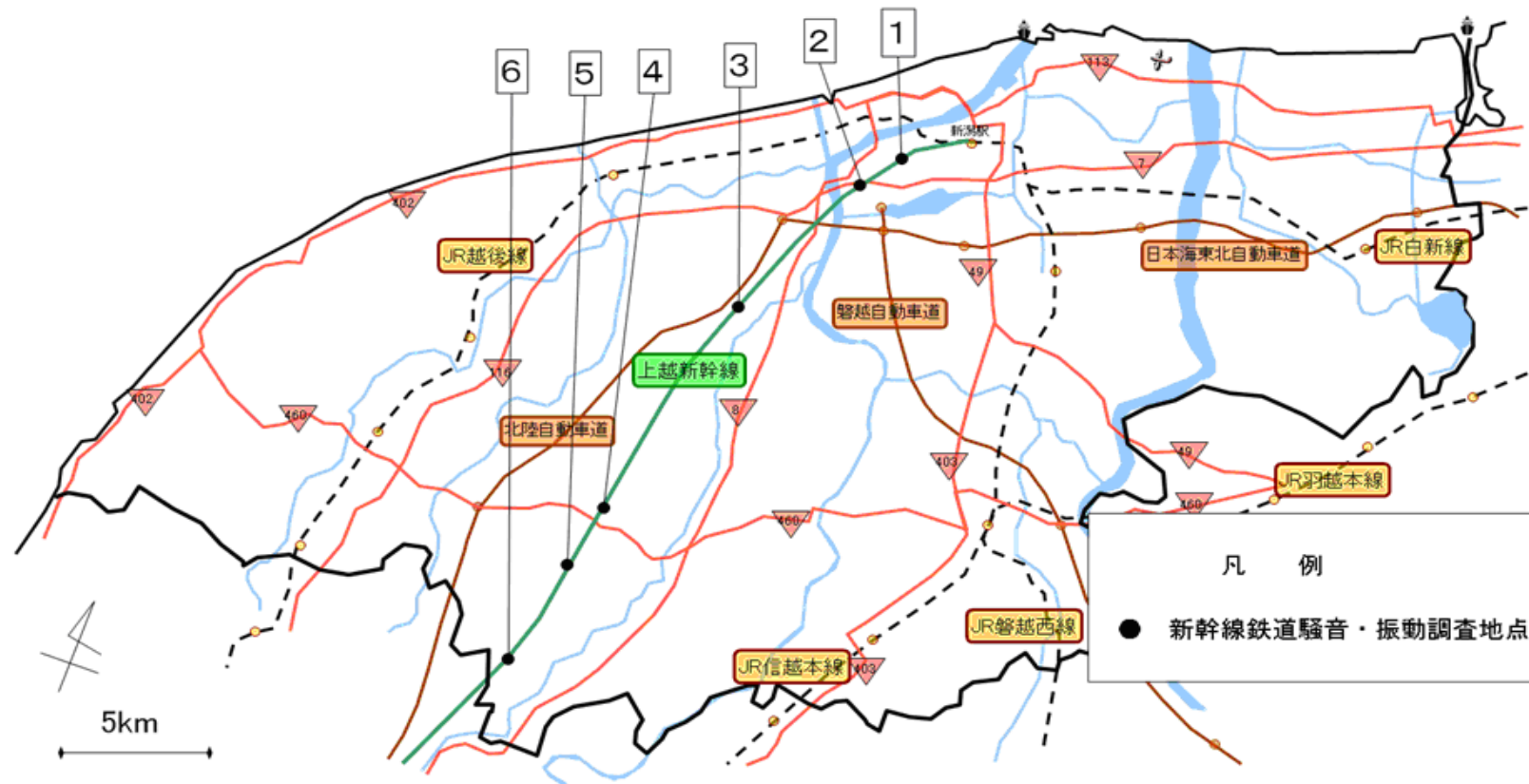
高速道路騒音調査

平成29年度

高速道路名	測定値 (デシベル)		環境基準 (デシベル)		環境基準の 達成状況
	昼間	夜間	昼間	夜間	
日本海東北自動車道 (北区葛塚)	57	52	70	65	達成
北陸自動車道 (西蒲区国見)	57	54	65	60	達成
磐越自動車道 (江南区酒屋町)	56	54	65	60	達成

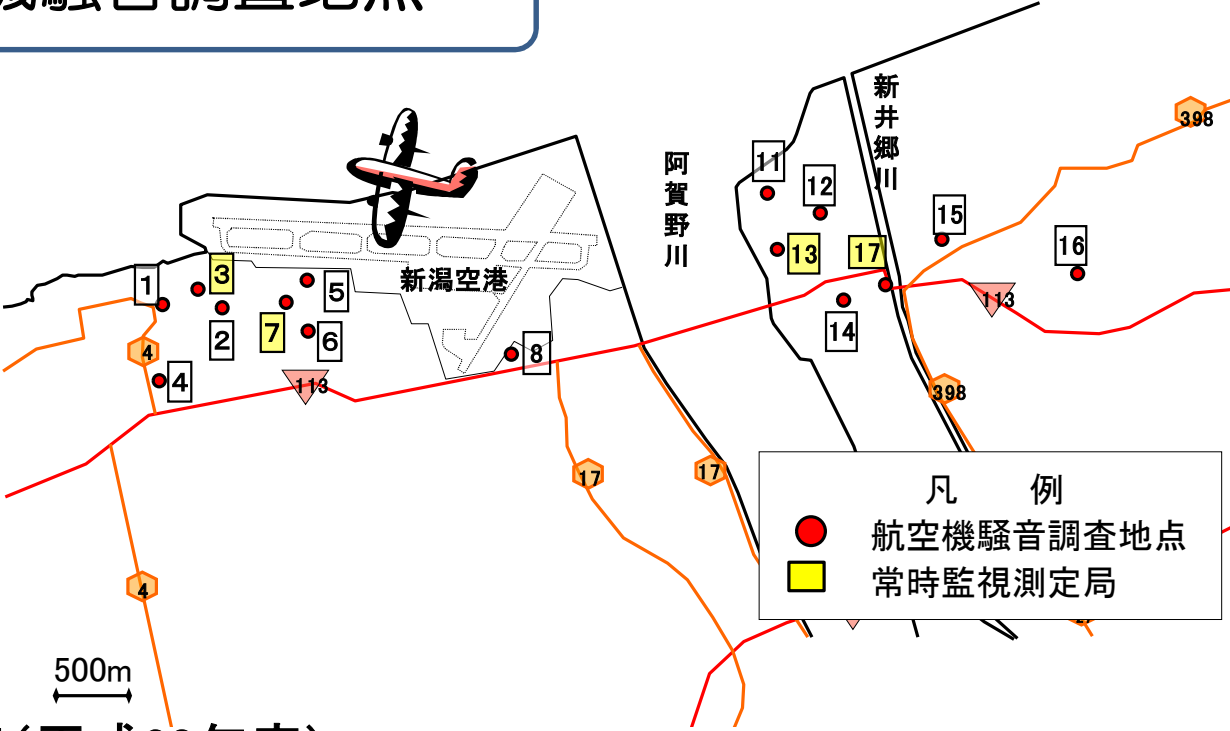
新幹線鉄道騒音調査地点

平成29年度



調査地点 (新潟駅から)	1上近江 (3km)	2大島 (5km)	3鳥原 (9km)	4井随 (19km)	5釣寄 (22km)	6中之口 (25km)	環境基準
環境基準 達成状況	72 未達成	72 未達成	74 未達成	72 未達成	73 未達成	71 未達成	70デシベル (I 類型)

航空機騒音調査地点



短期調査(平成28年度)

(I 類型:Lden57dB 以下, II 類型:Lden62dB以下)

調査地点	船江地区								松浜地区						
	No1	No2	No3	No4	No5	No6	No7	No8	No11	No12	No13	No14	No15	No16	No17
地域類型	II	II	II	II	II	II	II	II	I	I	I	I	II	II	I
環境基準達成状況	49 達成	48 達成	53 達成	44 達成	54 達成	48 達成	50 達成	55 達成	44 達成	51 達成	58 未達成	47 達成	54 達成	52 達成	52 達成

騒音測定を実施し、基準超過した結果への対応について

- **自動車騒音**

国土交通省新潟国道事務所（国道）

市土木総務課（県道・市道）

調査結果を送付し、騒音低減対策を要望。

- **新幹線騒音**

新幹線騒音振動対策関係市町連絡会議を経て、県及び関係市町が
東日本旅客鉄道株式会社（ＪＲ東日本）新潟支社に対し改善を要望。

- **航空機騒音**

環境基準の達成状況を国土交通省東京航空局新潟空港事務所に
報告し改善を要望。

- **高速道路騒音**

基準超過はないが、新潟県高速道路交通公害対策協議会を経て、県
及び関係市町村で東日本高速道路株式会社新潟支社に対し改善を
要望。